

食味が良く結実の良好な黄肉のモモ新品種

「つきあかり」



図1 モモ「つきあかり」の着果状況

- 1) (独) 農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成され、2008年に品種登録申請された。
- 2) 果皮色および果肉色は、「あかつき」と異なり、黄色である(図1)。
- 3) 成熟期は、「あかつき」と比較し6日遅い(表1)。
- 4) 糖度は「あかつき」に比べて2度高い(表1)。
- 5) 果実重は224g程度であり、「あかつき」と比較してやや小さい(表1)。
- 6) 花粉を有しているため、結実は良好であり、生理的落果も少ないために、「あかつき」と同等に生産性が安定している(表1)。
- 7) 以上の結果から、「つきあかり」は、果皮および果肉が黄色で特徴があり、良食味の中生モモ品種として有望である(表1)。

利用上の留意点：みつ症は、「あかつき」と同等に発生しやすい(表1)。

表1 「つきあかり」の特性

品種名	糖度 (Brix%)	酸 (pH)	果実重 (g)	収量 (kg/樹)	みつ症	花粉	生理的 落果	核割れ	開花盛期 (月/日)	収穫盛期 (月/日)
つきあかり	13.0	4.5	224	35.9	0.9	有	少	少	4/6	7/27
あかつき	10.9	4.5	258	36.3	0.7	有	少	少	4/8	7/21

注) データは東広島市安芸津町における2004年~2007年の平均値
対照品種「あかつき」は、中生モモの代表的品種
みつ症は発生程度の指数(0:無,1:微,2:少,3:中,5:甚)として評価